

製品名: TORC1/CRTC1 (リン酸化 Ser151) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab05571**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB |
| 反応性 | ヒト、ラット、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | リン酸化 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:1000-1:2000 |
| 分子量 | 70kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | CRTC1 |
| 別名 | CREB-regulated transcription coactivator 1 (Mucoepidermoid carcinoma translocated protein 1) (Transducer of regulated cAMP response element-binding protein 1) (TORC-1) (Transducer of CREB protein 1) |
| 遺伝子 ID | 23373.0 |
| SwissProt ID | Q6UUV9 |
| 免疫原 | ヒト TORC1 および CRTC1 (Ser151) 周囲の合成リン酸化ペプチド |

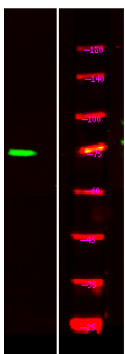
背景

疾患: CRTC1 に関連する染色体異常は、粘表皮癌、良性ワルチン腫瘍、明細胞汗腺腫で発見されています。MAML2 との転座は t(11;19)(q21;p13) です。この融合タンパク質は、CRTC1 の N 末端と MAML2 の C 末端が結合したもので構成されます。MAML2 の N 末端と CRTC1 の C 末端が結合した相互融合タンパク質は、少数の粘表皮癌で検出されています。機能: CREB1 の転写コアクチベーターで、コンセンサスおよびバリエーション cAMP 応答エレメント (CRE) サイトの両方を介して転写を活性化します。SIK/TORC シグナル伝達経路においてコアクチベーターとして作用し、脱リン酸化されると活性化し、CREB1 の 'Ser-133' リン酸化とは独立して作用します。CREB1 と TAF4 の相互作用を強化します。ステロイド生成遺伝子 StAR などの特定の CREB 活性化遺伝子の発現を制御します。PGC1 α の強力なコアクチベーターであり、筋細胞のミトコンドリア新生を誘導します。また、ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型 (HTLV-1) 長末端反復配列 (LTR) の TAX 活性化のコアクチベーターでもあります。海馬では、シャッフアー側副枝-CA1 シナプスにおける後期長期増強 (L-LTP) の維持に関与しています。PTM: Ser-151 のリン酸化/脱リン酸化状態は、CREB 活性の伝達の制御に必要です。TORC はリン酸化されると不活性になり、この部位で脱リン酸化されると活性になります。このリン酸化の主な部位は、cAMP およびカルシウム濃度によって制御され、LKB1 による SIK のリン酸化に依存しています (類似性による)。DNA 損傷時にリン酸化される (おそらく ATM または ATR による)。類似性: TORC ファミリーに属します。細胞内局在: SIK または AMPK によってリン酸化され、14-3-3 タンパク質によって隔離された場合は細胞質内 (類似性による)。カルシウムイオンや cAMP レベルなど、いくつかの要因によって引き起こされる Ser-151 の脱リン酸化により核に移行します。サブユニット: テトラマーとして、N 末端領域を介して CREB1 の bZIP ドメインに結合します。CREB1 の bZIP ドメインの [Arg-314] はこの相互作用に不可欠です。C 末端を介して TAF4 と相互作用すると、TAF4 の CREB1 へのリクルートメントが促進されます。HTLV1 Tax に結合します。組織特異性: 成人および胎児の脳で高発現しています。前頭前皮質や小脳などの特定の領域に局在します。心臓、脾臓、肺、骨格筋、唾液腺、卵巣、腎臓などの他の組織での発現は非常に低い。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



LPS 処理または未処理の HeLa 細胞を、一次抗体を 1:1000 希釈でウェスタンブロット分析した。二次抗体は 1:10000 希釈で行った。